

2020年(令和2年)3月11日 水曜日

長崎市 教育委員会 教育長 橋田慶信 様
長崎市 教育委員会 教育総務部長 前田孝志 様
長崎市 教育委員会 教育総務部 施設課長 西原政彦 様
長崎市 文化観光部長 股張一男 様
長崎市 文化観光部 文化財課長 大賀史郎 様
長崎市 企画財政部長 片岡研之 様
長崎市 企画財政部 都市経営室長 岩永 浩 様
長崎市 企画財政部 長崎創生推進室長 山田尚登 様
長崎市 企画財政部 大型事業推進室長 赤倉史明 様
長崎市 まちづくり部長 片江伸一郎 様
長崎市 土木部長 吉田安秀 様
長崎市 中央総合事務所長 大串昌之 様
長崎市 理材部長 小田 徹 様
長崎市 環境部長 宮崎忠彦 様
長崎市 原爆被爆対策部長 中川正仁 様
長崎市 秘書広報部長 原田宏子 様
長崎市 議会議長 佐藤正洋 様
長崎市 文化財審議会 会長 下川達彌 様

養生所を考える会 代表 池知和恭



遺跡に関する提案と要望のお届けについて

標記の件、下記別添資料をお届け致します。

当該資料に於ける提案と要望と趣旨につき、御理解を賜り、御検討、実施頂けますようお願い申し上げます。

記

1. 別添資料 (各一通)

(1)『(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する提案と要望』

2020年(令和2年)3月11日 水曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭

以上

連絡先

養生所を考える会 代表 池知和恭

〒852-8127 長崎県長崎市大手二丁目十七-四十六-一〇二

(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群 並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する提案と要望

一 養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存と活用より 一

2020年(令和2年)3月11日 水曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭

1. (長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群、並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段の築造、並びに、推移に関する、歴史上の出来事、図面資料、写真資料、に基づく考察

(1) 明治元年(1868年)～明治15年(1882年)

明治元年十月十七日(1868年11月30日)精得館を長崎府医学校(及び病院)と改称

明治二年七月九日(1869年)長崎府が長崎県と改称された旨長崎に布達、この後に長崎府医学校を長崎県病院医学校と改称

明治三年二月二十八日(1870年3月29日)長崎県病院が大学の所轄となる

明治四年十二月(1871年)長崎県病院を長崎医学校と改称

明治七年(1874年)10月12日長崎医学校を廃止

明治七年(1874年)11月7日旧長崎医学校(及び病院)が蕃地事務(支)局病院となる(征台の役の為に公兵員病院とする)

明治八年(1875年)4月31日蕃地事務(支)局病院が長崎県の所轄に帰し長崎病院となる

明治九年(1876年)6月20日長崎病院医学場開場

明治11年(1878年)1月8日長崎病院医学場を長崎醫学校と改称

*『長崎医学校』(写真) 明治三年頃か 長崎大学附属図書館目録番号7152

・旧分析窮理所の建物(講堂)の東南側に寄宿舎と仮定する二階建建物が増設されています。旧分析窮理所の建物(講堂)の西側にヘルツ・ハウスと推定する建物が設置されています。ヘルツ・ハウスの敷地の西面法面に石垣が築造されています。後の本門、校務所、北寄宿舎等の敷地は造成されていません。

*『長崎の病院』(写真) 明治七年(1874年)以前 長崎大学附属図書館目録番号MO05

*『小島養生所と長崎市街地(1)』 明治七年(1874年)以降明治11年(1878年)以前 長崎大学附属図書館目録番号5306

*『小島からの長崎医学校と唐人屋敷』 明治七年(1874年)以降明治11年(1878年)以前 長崎大学附属図書館目録番号6066

・旧分析窮理所の建物(講堂)の東南側に寄宿舎と仮定する二階建建物が確認できます。

・南寄宿舎の東側に南部が白壁に囲まれた敷地と二階建洋館建物や小屋が確認できます。

*『醫學校境内全圖』(平面図)『検査技師のための長崎散歩』中西 啓 昭和五十二年四月二十五日発行

*『醫學校平面圖[明治十一年以後ニシテ南北両寄宿舎取壊サレタリ]』(平面図)『検査技師のための長崎散歩』中西 啓 昭和五十二年四月二十五日発行

・旧分析窮理所の建物(講堂)の北西側に本門と校務所が、北側に寄宿舎が図示されています。

・旧分析窮理所の建物(講堂)の東南側に寄宿舎と仮定する二階建建物が図示されないのは、明治八年(1875年)から明治十年10月(1877年)迄 英医ヒールが梅毒病院として利用した寄宿舎であり、南寄宿舎の東側に南部が白壁に囲まれた敷地と二階建洋館建物や小屋が図示されないのは、ヘルツ・ハウスと同様、外国人教師等の住宅であり、即ち、医学校の施設でないことによる可能性があります。

○ 明治三年から明治四年頃に、長崎県病院又は長崎医学校の本門、校務所、北寄宿舎の敷地造成と建築に伴い、本門の両翼一帯に布積を基本とする石垣が、築造された、と想定します。

(2) 明治15年(1882年)～明治39年(1906年)

明治15年(1882年)5月27日長崎醫学校在甲種医学校となる

明治21年(1888年)4月10日第五高等中学校医学部開校式挙

明治24年(1891年)9月11日第五高等中学校医学部が長崎県西彼杵郡浦上山里村に移転し在来の医学校を分教場とし四学年生の臨床講義場に充てる

明治27年(1894年)9月11日第五高等中学校医学部を第五高等学校医学部と改称

明治34年(1901年)3月31日第五高等学校医学部を長崎医学専門学校と改称

明治35年(1902年)4月長崎病院が長崎県西彼杵郡浦上山里村に新築工事竣工して開院

*『長崎医学校第十二敷地建物略図[明治十五年現在]』(平面図)『長崎医学百年史』発行 長崎大学医学部「長崎医学の百年」(第四章)中西 啓 昭和三十六年三月三十一日発行

・明治15年頃、正門後陣のそれまでの校務所の位置に木造二階建て寄棟屋根造洋館の講堂を新築しています。

・当該の木造二階建て寄棟屋根造洋館の講堂の北面に四段の半円型石段と推定する図示が確認できます。

・甲種長崎医学校の正門は当該敷地北面西部の西寄りに図示され、長崎府医学校(及び病院)～長崎県病院医学校～長崎醫学校等の当該敷地北面西部の東寄りに図示される本門の位置より、西方に、正門の位置が移動しています。

*『高野平からの小島山手遠望』(写真) 明治22年(1865年)以降明治24年頃迄か 長崎大学附属図書館目録番号2871

・当該の木造二階建て寄棟屋根造洋館の講堂と推定する寄棟屋根が確認できます。

○ 当該石垣の現状の観察より、当該石垣に付、長崎県病院医学校又は長崎医学校以降、長崎醫学校等の本門から甲種長崎医学校の正門への正門の西方への付替えの為、本門東翼石垣を遺存し、石垣を布積を基本として西方に接続して増築し、新しい正門に接続した、と想定します。

(3) 明治39年(1906年)～大正12年(1923年)

明治39年(1906年)6月1日 長崎市佐古尋常高等小学校、佐古小島1番地の第五高等学校医学部分教室充用して開校式挙行
(『閉校記念誌 ～ありがとう佐古小学校～』 発行日 平成28年2月28日 発行者 佐古小学校閉校実行委員会 編集 佐古小学校閉校実行委員会 記念誌部 編集事務局 長崎市立佐古小学校)

○ 長崎市佐古尋常高等小学校の開校について、第五高等学校医学部分教場跡地及び分教場施設である旧精得館の分析究理所建物と旧甲種長崎医学校の講堂建物の二棟を小学校施設として継承したと特定します。

- * 長崎市佐古尋常高等小学校 大正元年十一月現在職員 (旧甲種長崎医学校講堂建物前)
 - * 長崎市佐古尋常高等小学校 第十一回卒業生大正十年三月 (旧甲種長崎医学校講堂建物前)
 - * 長崎市佐古尋常高等小学校 第十二回卒業生大正十一年三月 (旧甲種長崎医学校講堂建物前)
- (以上旧長崎市立佐古小学校所蔵 写真台帳)

- ・旧甲種長崎医学校の講堂の建物の玄関前半円型石段の様子がわかります。
- ・当該半円型石段は、三段乃至本来四段、中央部に板石材を両端部に角石材を使用している可能性があります。

- * 長崎醫學専門學校 第十四回 卒業記念写真集 大正三年秋十月 中央寫眞館謹寫 大正參年拾月拾參日 受領 上野祐里
・「佐古舊校」(正門やや東より-講堂に正対:楕円枠)
 - * 長崎醫學専門學校 第十五回 卒業記念写真集 大正四年九月一日完成 中央寫眞館謹寫
・「佐古舊校」(正門やや西より:正門開放し講堂玄関を認める:丸枠)
 - * 長崎醫學専門學校 第十七回 卒業記念写真集 大正六年 月 日印刷 本田寫眞館謹寫
・「佐古舊校」(正門やや西より:小門開放:細部鮮明:楕円枠)
 - * 長崎醫學専門學校 第十八回 卒業記念写真集 大正七年 月 日印刷 本田寫眞館謹寫 松雪蔵
・「佐古舊校」(正門やや西より:小門開放:大正六年に掲載の写真と同一:円枠の為左右画像を切断:円枠)
 - * 長崎醫學専門學校 第十九回 卒業記念写真集 大正八年四月 日印刷 本田寫眞館謹寫 (縦田三郎氏寄贈)
・「佐古舊校」(正門やや西より:小門開放:大正六年に掲載の写真と同一:円枠の為左右画像を切断:明治七年に掲載の写真と同一:円枠)
- (以上2019年(平成31年)3月現在長崎大学附属図書館医学部分館所蔵)

- ・当該の正門両翼の石垣の天端が、直方体の石材で構成されていることがわかります。

○ 門柱の文字が判別しにくいのですが、各写真集によって、被写体の細部が都度異なる為、甲種医学校時代や分教場の時代の写真の複写ではなく、写真集作成に際して新たに撮影した明治39年(1906年)6月1日に開校した佐古尋常高等小学校(第五高等学校医学部分教場跡地及び分教場施設である旧養生所の分析究理所建物と旧長崎医学校の講堂建物の二棟を小学校施設として継承した)の当時の写真である、と推測します。

○ 「佐古舊校」との写真題名、明治15年当時の医学校の平面図より、一帯は、明治15年(1882年)5月27日長崎醫學校が甲種医学校となる当時、又、分教場の時代より大きな変化がなかった可能性がある、と想定します。

(4) 大正12年(1923年)～昭和6年(1931年)

大正12年(1923年)4月1日長崎医科大学開設、
大正14年(1925年)7月20日 長崎市佐古尋常高等小学校、長崎医科大学所有の校地1,572坪を購入
大正14年(1925年)10月29日 長崎市佐古尋常高等小学校、長崎医科大学所有の校舎二階建1棟を返還移転
(長崎市佐古尋常高等小学校について『閉校記念誌 ～ありがとう佐古小学校～』)
大正15年(1919年)4月1日長崎市小島町一番戸、元養生所附属建物二階家一棟を本学構内に移す

- * 長崎醫科大學 第三回 卒業記念写真集『ぐびろヶ丘 1929』 -- 山口寫眞莊山口静夫 (父安井弘旧蔵 安井誠 寄贈)
・「學校病院全景」(山上記念館)
 - * 長崎醫科大學 第四回 卒業記念写真集『卒業記念』昭和五年三月 寫眞館 響 謹寫
・「大學」(山上記念館) ・「山上記念館」
 - * 長崎醫科大學 第五回 卒業記念写真集『1931』昭和六年三月 寫眞館 響 謹寫 (青木義勇氏寄贈圖書)
・「長崎醫科大學遠望」(山上記念館は滅失/部材が散乱) ・「山上記念館」
 - * 長崎醫科大學 第八回 卒業記念写真集 昭和八年十二月八日 長崎要塞司令部檢閲濟 寫眞館 響
・「大學全景」(山上記念館は滅失/整理)
- (以上2019年(平成31年)3月現在長崎大学附属図書館医学部分館所蔵)

・2019年(平成31年)3月、弊会は、長崎大学附属医学部分館における、同館所蔵の長崎医科大学の一連の卒業記念写真帳の調査により、長崎医科大学による長崎市佐古尋常高等小学校の旧甲種長崎医学校の講堂の建物の長崎医科大学構内への移設先が、同大学構内のぐびろヶ丘の頂上であること、を確認し、再発見しました。

- ・当該の写真群に、移設された甲種医学校の講堂建物と玄関前に附属する半円型の石段の様子が確認できます。
- ・当該の写真群と他の写真群により、甲種長崎医学校の講堂の四面の外観が具体的に確認できます。

○ 甲種長崎医学校の講堂の建物について、一部に様式上の模式を摘要し、建物の外観復元建築が可能と理解します。
養生所/(長崎)医学校等遺跡の建物の外観復元建築が可能な情報を現存資料から取得できる例は、当該の甲種長崎医学校の講堂の建物が唯一である、と理解します。

(5)大正14年(1925年)～昭和6年(1931年)

大正14年(1925年)12月25日 長崎市佐古尋常高等小学校、高低二段の運動場の改修工事竣工、面目一新す
(長崎市佐古尋常高等小学校について:『閉校記念誌～ありがとう佐古小学校～』)

*『1865年建築の分析究理所の近影』大正14年以降 昭和10年3月以前 (昭和6年以前か)

(長崎談叢 第六十六輯 昭和五十七年十一月十五日発行「長崎医科大学諸教授の医学史と洋学伝来史に関する欧文論文」青木義勇訳注)

・改修した運動場と旧分析窮理所方向の一帯の様子が確認できます。

*『昭和五年調製 佐古小學校増築工事設計圖 全拾二ノ一 縮尺四百分之一 ☆建築課』(長崎市保管)

・当該の佐古小學校の正門の造形について、明治15年頃の甲種医學校の正門より、平面図上の有意な変化は確認できない、と理解します。

・当該の平面図上に、扇形石段の造形は確認できません。

○長崎市佐古尋常高等小学校の運動場の東部である上段高部を切土して、同運動場の西部である下段低部に盛土した、と想定します。

○当該石垣の現状の観察より、当該石垣に付、この改修工事によって、甲種医學校の正門両翼の石垣の天端の直方体の石材を取り外し、その上方に、石垣を布積を基本として増築したと想定します。

(6)昭和6年(1931年)～昭和14年(1939年)

昭和6年(1931年)5月21日 長崎市佐古尋常高等小学校、増築校舎(206坪その他水洗便所1棟)竣工し、理科、手工、音楽、裁縫図画家事の特別教室新設、25周年記念式並びに落成式挙行 (『閉校記念誌～ありがとう佐古小学校～』)

*『現佐古小學校校舎一部 元分析窮理所(平屋百二十坪)(昭和十一年三月十一日長崎要塞司令部検閲済)』(絵巻書) 昭和6年以降 昭和11年3月以前

(以上旧長崎市立佐古小學校所蔵 写真群)

・当該の佐古小學校の運動場と旧分析窮理所建物の方向の一帯の様子が確認できます。

○昭和6年(1931年)3月までの長崎医科大学構内ぐびろヶ丘山上の「記念館」(旧甲種長崎医學校講堂建物:大正14年(1925年)10月29日に長崎市佐古尋常高等小学校より返還移転)の滅失(長崎醫科大學 第五回 卒業記念写真集『1931』昭和六年三月 寫真館 響 謹寫「長崎醫科大學遠望」)により、旧甲種長崎医學校講堂建物玄関前半円型石段(三段乃至本来四段程)を長崎市佐古尋常高等小学校北西角に当該の扇形石段の部材として移設した可能性があります。

○当該石垣の現状の観察より、当該石垣に付、長崎市佐古尋常高等小学校北西角への扇形石段の設置に際し、甲種長崎医學校の正門の両翼の石垣を継承し上方へ増築した石垣の東翼西部の角石を一部に遺存し、石垣を、谷落し積みにて西方に接続して増築し、南部へ屈折させながら、当該の扇形石段へ接続した、と想定します。後に、部分的にコンクリートによる補強を受けて、現在に至る、と想定します。

(7)昭和14年(1939年)～昭和22年(1947年)

昭和12年(1937年)から昭和16年(1941年)頃にかけて 長崎市佐古尋常高等小学校の東方二ヶ所の隣接する民有地を市有地として小学校敷地を拡張整備 (土地台帳より推定)

昭和14年(1938年)1月5日 長崎市佐古尋常高等小学校、運動場拡張工事完了(317坪)

(長崎市佐古尋常高等小学校について:『閉校記念誌～ありがとう佐古小学校～』)

*長崎市佐古尋常高等小学校『縣立高女専攻科生 昭和十四年一月』(写真)(旧精得館分析窮理所建物北面)

*長崎市佐古尋常高等小学校『昭和十六年三月 清水校長ト校舎』(写真)(運動場より旧精得館分析窮理所建物方向を望む)

(以上旧長崎市立佐古小學校所蔵 写真台帳)

*『佐古校實測平面圖 縮尺三百分之一』[昭和25年](平面図)(長崎市保管)

・長崎市佐古尋常高等小学校へ、東方隣接地を新規に敷地編入した二ヶ所の夫々の土地の範囲が確認できます。

・当該の佐古校の敷地の北西角に扇形石段の造形が確認できます。

○長崎市佐古尋常高等小学校への、二ヶ所の東方隣接地新規敷地編入運動場への接続拡張について、運動場より高部である南の編入地を切土し、運動場より低部である北の編入地に盛土し、用土に不足があれば他より搬入し、残土があれば、運動場一帯へ散布した、と想定します。

○長崎市佐古尋常高等小学校へ、東方隣接地を新規に敷地編入した二ヶ所の夫々の土地の範囲の、新しい長崎市佐古尋常高等小学校の敷地境界に築造された矢羽小谷積の石垣並びに煉瓦塀等が、昭和14年1月前後以降に築造されたこと、が理解できます。

(8)昭和22年(1947年)～平成28年(2016年)～令和2年(2020年)

昭和22年(1947年)4月1日 長崎市立佐古小學校となる

昭和25年(1950年)6月20日 文久元年幕府医官松本良順、蘭医ポンペの設立になる養生所の旧職員室解体工事着手

昭和25年(1950年)10月5日 運動場拡張工事完工

昭和44年(1969年)8月20日 運動場金網塀工事、体育倉庫改築

平成28年(2016年)2月28日 閉校記念式典・閉校行事 3月17日 最後の卒業式 3月24日 修了式とともに閉校

(長崎市立佐古小學校について:『閉校記念誌～ありがとう佐古小学校～』)

○昭和25年 旧精得館の分析窮理所建物の解体と之に伴う同建物敷地の切土と生成用土の運動場への盛土に際し、長崎市立佐古小學校敷地北面東部の昭和14年頃築造の矢羽小谷積石垣と西部の当該石垣群の中間中央部に接続して、石垣を、矢羽小谷積にて改築したと想定します。

2. (長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群に関する想定

私達 当会は、当該の石垣群について、明治三年から明治四年頃に、長崎県病院医学校又は長崎医学校の本門、校務所、北寄宿舍の敷地造成と建築によって、本門の両翼一帯の石垣として、築造され、明治15年頃に、長崎県病院医学校又は長崎医学校以降、長崎醫学校等の本門から甲種長崎医学校の正門への正門の西方への付替えの為に、当初の本門の東翼の石垣を遺存し、石垣を、西方に接続して増築し、新しい正門に接続し、当時、当該石垣群の天端は直方体の石材で構成され、大正14年(1925年)12月25日竣工の長崎市佐古尋常高等小学校の高低二段の運動場の改修工事により、当該石垣の天端の直方体の石材を取り外し、その上方に、石垣を増築し、昭和6年頃に、長崎市佐古尋常高等小学校北西角への扇型石段の設置に際し、甲種長崎医学校の正門の両翼の石垣を継承し上方へ増築した石垣の東翼西部の角石を一部に遺存し、石垣を、西方に接続して増築し、南方へ屈折させながら、当該の扇型石段へ接続し、後に、部分的にコンクリートによる補強を受けて、現在に至る、と想定します。当該石垣群の東方に接続する石垣群は、昭和25年頃築造、その東方に、昭和14年頃築造の石垣と想定します。

私達 当会は、当該の石垣群について、その東部の下段に、明治三年から明治四年頃に、長崎県病院医学校又は長崎医学校の、即ち、長崎の医学校の最初の本門の東翼の石垣として築造された石垣を遺存する、と想定します。

私達 当会は、当該の石垣群について、大正四年から大正八年の長崎醫學専門學校の卒業記念写真帳に「佐古舊校」と題して掲載される写真の石垣の東翼部分と遺跡の現状の比較より、当該の石垣群の下段の東西中央部分の甲種長崎医学校の正門の東翼の石垣と特定し得る部位には、拳大の石材までそのままに遺存することを確認し、又、甲種長崎医学校の正門の東翼の石垣の西部が南方に屈折する部位の角石が一部に遺存する、と想定します。

私達 当会は、当該の石垣群の各個別の石垣について、接続する石垣を増築する以前の、敷地の形状、並びに、接続する施設の位置や性等格に従い、その後方に、屈折する石垣、又は、舗装の石材、門柱や階段の石材、又はその他の痕跡を遺存する可能性がある、と想定します。

私達 当会は、当該の石垣群について、(長崎)医学校の設置に関する施設整備による築造の当初から、その後の変遷の実態を、具体的に、遺存し、近代から現代に継承し、証徴する、希少な遺跡である、と想定します。

私達 当会は、当該の石垣群について、長崎地域の旧市街域の合端合わせ等の作法を有する伝統的な石垣築造の技術上系譜にあると考え得ると理解する処、厳密な作行ではない処、布積又谷落し積を基本とする丁寧で端正な作行である、と認識します。

私達 当会は、当該の石垣群並びに接続する石垣群について、石垣築造と増築天端煉瓦塀天川石灰コンクリート他建造工作物が二つ以上隣接して連続し、遺跡の実態と歴史上出来事と補完傍証資料との照合より、近代初頭(明治三年から明治四年頃)より現代初期(昭和25年と推定)に於ける当該の複数の石垣等の築造年が、ほぼ明らかである処、又、その類例が少ないと考え得る処希少であり、養生所/(長崎)医学校等遺跡並びに関連する遺跡群たる個別の遺跡としての性格に於いて、同時に、その範囲を超えて、近隣地域又他の地域との関連に於いて、近世から現代初期の石垣築造並びに増改築補修補強等作法、又、その築造工作年代考察に於ける示標の一つとなり、学術上価値が高い、と理解します。

3. 旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する想定

当該の扇型石段は、明治15年頃に、甲種長崎医学校の講堂の玄関前の半円型の石段(三段乃至本来四段)として築造され、大正14年から大正15年に、甲種長崎医学校の講堂の建物が、長崎医科大学のぐびろヶ丘の山上に移築され、「記念館」として開設されるに際して、共に移設され、昭和6年3月以前に、当該の「記念館」が滅失したに際して、その玄関前の半円型の石段(三段乃至本来四段)の石材を、長崎市佐古尋常高等小学校の敷地の北西角に設置する当該扇型石段(上部6段の角石材又は厚板石材、下部14段の板石材、合計20段)の為に、充当して、造形し、築造した、可能性がある、と想定します。

4. 一連の遺跡たる事象の推移について

私達 当会は、(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群、並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する、一連の出来事、又、養生所/(長崎)医学校等遺跡一般について、各当事の組織体の発展の重要な画期に於いて、意図的に、準備され計画され実施され、時の経過により、各組織体の変遷にとって重要な遺跡であり、又、その改変に当たって、各当該の理事者は、現行の昭和25年5月に設置された文化財保護法の遺跡である「記念物」としての性格を既に認識し、各当該理事者間の十分な連携と準備と計画と実施によって、又、施工者の現場の技術によって、みだりな改変を慎み、意図的に、取扱い、時に盛土により埋蔵され、今に保存されてきたものである、と認知し認識し理解します。

5. 長崎市の長崎市立仁田佐古小学校建設計画過程に於ける 旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段遺跡に関する地域居住者への説明並びに配布資料に於ける誤謬について

長崎市の理事者は、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段について、第一回 第二回 第三回 長崎市立仁田佐古小学校 校舎等建設計画 地域懇話会 での配布資料(各、平成28年4月22日 金曜日、同6月2日 木曜日、同8月5日 金曜日)に於いて、「記念碑・記念樹等の取扱いについて(佐古小)」の項で、「階段は、1871年、長崎医学校の時代からの歴史的なアーチ型階段」と説明しています。(※1871年:明治四年) 旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段の築造時期は、『昭和五年調製 佐古小學校増築工事設計圖 全拾二ノ一 縮尺四百分之一 ☆建築課』及び『佐古校實測平面圖 縮尺三百分之一』の二つの図面より、昭和5年以降昭和25年以前であることが明らかです。

私達 当会は、長崎市の理事者に、当該事象について、『長崎医学校等北部正門東翼石垣群等の現状保存の要望 - 養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存と活用より - 2019年(令和元年)6月3日 月曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭』その他の契機に、複数回、情報提供し、「私達 当会は、長崎市立仁田佐古小学校 校舎等建設計画地域懇話会、及び、当該資料の影響範囲の長崎市民に対して、当該提供情報の当該訂正を行い広報し周到に周知することを要望します。」と提案し要望しています。

私達 当会は、長崎市立仁田佐古小学校 校舎等建設計画地域懇話会、及び、当該資料の影響範囲の長崎市民、並びに、関係者に対して、当該提供情報の当該訂正を行い広報し周到に周知することを要望します。

6. 私達 当会の、(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群、並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する、提案と要望

私達 当会は、皆様に、(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群、並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段について、之を、かねて不可視の「埋蔵文化財」ではなく、かねて可視の顕在する地上遺跡であり「記念物」の性格を有する遺跡である、と認知し認識し理解します。

私達 当会は、皆様に、(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群、並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に付、養生所/(長崎)医学校等遺跡並びに関連する遺跡群として、現状保存と活用のための調査を実施し、その計画と過程と結果をその進行と並行して公開し、長崎県病院医学校又は長崎医学校以降、長崎醫学校等の本門、並びに、甲種長崎医学校の正門の東西両翼の石垣等石垣群、並びに、当該石垣群に接続する旧長崎市立佐古小学校北敷地北面一帯等の石垣群、並びに、付随する建造物、工作物、の現状保存、又は、原状回復、並びに、長崎市佐古尋常高等小学校以来と想定する、旧長崎市立佐古小学校の敷地の北西部の扇型石段の石材に関する甲種長崎医学校講堂玄関前半円型石段(三段乃至本来四段程)の遺物としての取扱いを実現すること、を提案し要望します。

7. その他

私達 当会は、精得館から(長崎)医学校への施設の拡張整備一般について、江戸末期に撮影された関係する古写真に於いて、既に当該の建物敷地の隣接地に施工中の土地の造成が確認できるため、江戸期に計画され、実施されつつあった、と理解します。

8. 備考

(1) 引用資料について

前掲引用の各資料(*印)について、長崎市保管の資料であるか、私達 当会が、『養生所/医学校の遺構の保存・修復・整備・復元に関する陳情書(旧長崎市立佐古小学校地と一部の隣接道路について)2016年(平成28年)9月7日水曜日 長崎市議会議長 毎熊政直様 陳情人 養生所を考える会 代表 池知和恭』を著わし、養生所/(長崎)医学校等遺跡の調査、保存、活用の提案と要望を為す当初より、又、2019年(平成31年)4月17日水曜日に実施された長崎市の理事者様と弊会との第二回総合意見交換、並びに、『長崎医学校等北部正門東翼石垣群等の現状保存の要望』(2019年(令和元年)6月3日月曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭)までに、弊会より長崎市の理事者様に提出していますので、御確認ください。

(2) 当該提案と要望の経過について

『養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情書 X V (旧長崎市立佐古小学校地とその外周道路を中核として) 2019年(令和2年)2月28日金曜日 長崎市議会議長 佐藤正洋様 陳情人 養生所を考える会 代表 池知和恭』
『長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情書 VI (サン・パウロ教会等跡/長崎奉行所西役所跡/長崎県庁跡・大波止跡・築地跡等) 2019年(令和2年)2月28日金曜日 長崎市議会議長 佐藤正洋様 陳情人 養生所を考える会 代表 池知和恭』
『長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情書 VI (サン・パウロ教会等跡/長崎奉行所西役所跡/長崎県庁跡・大波止跡・築地跡等) 2020年(令和2年)3月3日火曜日 長崎県議会議長 瀬川光之様 陳情人 養生所を考える会 代表 池知和恭』
『養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する要望書 X (旧長崎市立佐古小学校地とその外周道路を中核として) 長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する要望書 VI (サン・パウロ教会等跡/長崎奉行所西役所跡/長崎県庁跡・大波止跡・築地跡等) 2020年(令和2年)3月3日火曜日 長崎県知事 中村法道様 長崎県教育委員会 教育長 池松誠二様 長崎県 企画振興部長 柿本敏晶様 長崎県 文化観光国際部長 中崎謙司様 長崎県 土木部長 岩見洋一様 長崎県 環境部長 宮崎浩善様 長崎県 文化財保護審議会 会長 林 一馬様 長崎市 長田上富久様 長崎市 教育委員会 教育長 橋田慶信様 長崎市 教育委員会 教育総務部長 前田孝志様 長崎市 文化観光部長 股張一男様 長崎市 まちづくり部長 片江伸一様 長崎市 土木部長 吉田安秀様 長崎市 環境部長 宮崎忠彦様 長崎市 理材部長 小田 徹様 長崎市 原爆被爆対策部長 中川正仁様 長崎市 秘書広報部長 原田宏子様 長崎市 文化財審議会 会長 下川達彌様 要望人 養生所を考える会 代表 池知和恭』
に記しましたので御確認ください。

9. 添付資料

(1) 『(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群 並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する歴史上の出来事』

2020年(令和2年)3月11日水曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭

(2) 『旧長崎市立佐古小学校北敷地北面西部に於ける 旧(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群の現状保存等、並びに、長崎市の同小学校北西門前扇型石段の移築計画への提案と要望(素案)』(図)

2020年(令和2年)3月8日 日曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭

(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群

並びに、旧長崎市立佐古小学校北西門前扇型石段に関する歴史上の出来事

一 養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存と活用より

2020年(令和2年)3月11日 水曜日 養生所を考える会 代表 池知和恭

明治元年十月十七日(1868年11月30日)精得館を長崎府医学校(及び病院)と改称
明治二年七月九日(1869年)長崎府が長崎県と改称された旨長崎に布達この後に長崎府医学校を長崎県病院医学校と改称
明治三年二月二十八日(1870年3月29日)長崎県病院が大学の所轄となる
明治四年十一月十四日(1871年12月25日)長崎県病院が文部省の所轄となる
明治四年十二月(1871年)長崎県病院を長崎医学校と改称
(明治五年から明治7年まで学校制度の複数の変更に関する複数の称号の変更あり)
明治7年(1874年)10月12日長崎医学校を廃止
明治7年(1874年)11月7日旧長崎医学校(及び病院)が蕃地事務(支)局病院となる(征台の役の為に公兵員病院とする)
明治8年(1875年)4月31日蕃地事務(支)局病院が長崎県の所轄に帰し長崎病院となる
明治9年(1876年)6月20日長崎病院医学場開場
明治10年(1877年)2月19日 政府は、鹿児島県逆徒征討の詔を發出(西南の役)
明治10年(1877年)3月23日 吉田健康は山田陸軍少将の辞令を得て陸軍御用傭に任ぜらる。長崎病院は警視病院の本院に充当。傷病兵の収容所となる。(第一分派病院:大音寺、第二分派病院:(広運館)、第三分派病院:正覚寺、第四分派病院:バラックを建設)
明治10年(1877年)7月22日 戦時仮病院及び第一乃至第四分派病院の全部が警視病院と改称される
明治10年(1877年)9月24日 西郷隆盛が被弾して鹿児島島の城山で自刃(51歳)。午前9時頃、銃声が静止(西南の役終結)
明治10年(1877年)10月16日 長崎軍団病院が廃止され、臨時長崎病院が置かれて(博愛社は)残務処理を行う
明治11年(1878年)1月8日長崎病院医学場を長崎醫学校と改称
明治15年(1882年)5月27日長崎醫学校在甲種医学校となる(医学校通則を通過)
明治21年(1888年)4月10日第五高等中学校医学部開校式挙行
明治22年(1889年)4月1日長崎区に市制が施行され、長崎市が誕生(面積7km² 推定)
明治24年(1891年)9月11日第五高等中学校医学部が長崎県西彼杵郡浦上山里村に移転し在来の医学校を分教場とし四学年生の臨床講義場に充てる
明治27年(1894年)9月11日第五高等中学校医学部を第五高等学校医学部と改称
明治34年(1901年)3月31日第五高等学校医学部を長崎医学専門学校と改称
明治35年(1902年)4月長崎病院が長崎県西彼杵郡浦上山里村に新築工事竣工して開院
明治39年(1906年)6月1日長崎市佐古尋常高等小学校、佐古小島1番地の第五高等学校医学部分教室充用して開校式挙行
(『閉校記念誌 ~ありがとう佐古小学校~』 発行日 平成28年2月28日 発行者 佐古小学校閉校実行委員会 編集 佐古小学校閉校実行委員会記念誌部 編集事務局 長崎市立佐古小学校)
(第五高等学校医学部分教室跡地及び分教室施設である旧養生所の分析究理所建物と旧長崎医学校の講堂建物の二棟を小学校施設として継承と特定)
大正12年(1923年)4月1日長崎医科大学開設
大正14年(1925年)7月20日 長崎市佐古尋常高等小学校、長崎医科大学所有の校地1, 572坪を購入
大正14年(1925年)10月29日 長崎市佐古尋常高等小学校、長崎医科大学所有の校舎二階建1棟を返還移転
大正14年(1925年)12月25日 長崎市佐古尋常高等小学校、高低二段の運動場の改修工事竣工、面目一新す
(長崎市佐古尋常高等小学校について:『閉校記念誌 ~ありがとう佐古小学校~』)
大正15年(1919年)4月1日長崎市小島町一番戸、元養生所附属建物二階家一棟を本学構内に移す
昭和6年(1931年)3月までに、長崎医科大学構内ぐびろヶ丘の山上の「記念館」(旧甲種長崎医学校講堂建物:大正14年(1925年)10月29日に長崎市佐古尋常高等小学校より返還移転)滅失
(長崎醫科大學 第五回 卒業記念写真集『1931』 昭和六年三月 寫眞館 響 謹寫「長崎醫科大學遠望」)
昭和6年(1931年)5月21日長崎市佐古尋常高等小学校、増築校舎(206坪その他水洗便所1棟)竣工し、理科、手工、音楽、裁縫図画家事の特別教室新設、25周年記念式並びに落成式挙行
(長崎市佐古尋常高等小学校について:『閉校記念誌 ~ありがとう佐古小学校~』)
昭和12年(1937年)から昭和16年(1941年)頃にかけて長崎市佐古尋常高等小学校の東方二ヶ所の隣接する民有地を市有地として小学校敷地を拡張整備(土地台帳)
昭和14年(1938年)1月5日長崎市佐古尋常高等小学校、運動場拡張工事完了(317坪)
(長崎市佐古尋常高等小学校について:『閉校記念誌 ~ありがとう佐古小学校~』)
昭和16年(1941年)4月1日佐古国民学校となる
昭和20年(1945年)8月9日 原爆爆撃隊、11時2分、長崎市に原爆投下
昭和20年(1945年)8月15日 天皇の戦争終結の詔書を放送(玉音放送)
昭和22年(1947年)4月1日長崎市立佐古小学校となる
昭和24年(1945年)5月31日法律第一五〇号により、国立学校設置法が公布され、本学(長崎大学)は、学芸学部、経済学部、医学部、薬学部、水産学部の五学部より成る新制長崎大学として、同日、設置、長崎医科大学、同附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校及び長崎高等学校の旧制学校を包括した。又、長崎大学には、風土病研究所を附属された。長崎医科大学長高瀬清は長崎大学医学部長を併任、附属薬学専門部長川上登喜二は薬学部長を併任。
昭和25年(1950年)6月20日長崎市立佐古小学校、文久元年幕府医官松本良順、蘭医ポンベの設立になる養生所の旧職員室解体工事着手
昭和25年(1950年)6月21日職員室として使用していた旧養生所の分析究理所の建物を解体
(長崎市立佐古小学校所蔵写真帳に貼付の解体を始めた当該建物の写真に6月21日と併記します:旧養生所/医学校及び病院の建物のうち最後まで残存した当該の旧精得館の分析究理所の建物の解体により佐古の丘の長崎病院を含めた医療系施設の建物の全てが消失しました)
昭和25年(1950年)10月5日長崎市立佐古小学校、運動場拡張工事完工
昭和44年(1969年)8月20日長崎市立佐古小学校、運動場金網塀工事、体育倉庫改築
平成28年(2016年)2月28日長崎市立佐古小学校、閉校記念式典・閉校行事 3月17日最後の卒業式 3月24日修了式とともに閉校
(長崎市立佐古小学校について:『閉校記念誌 ~ありがとう佐古小学校~』)

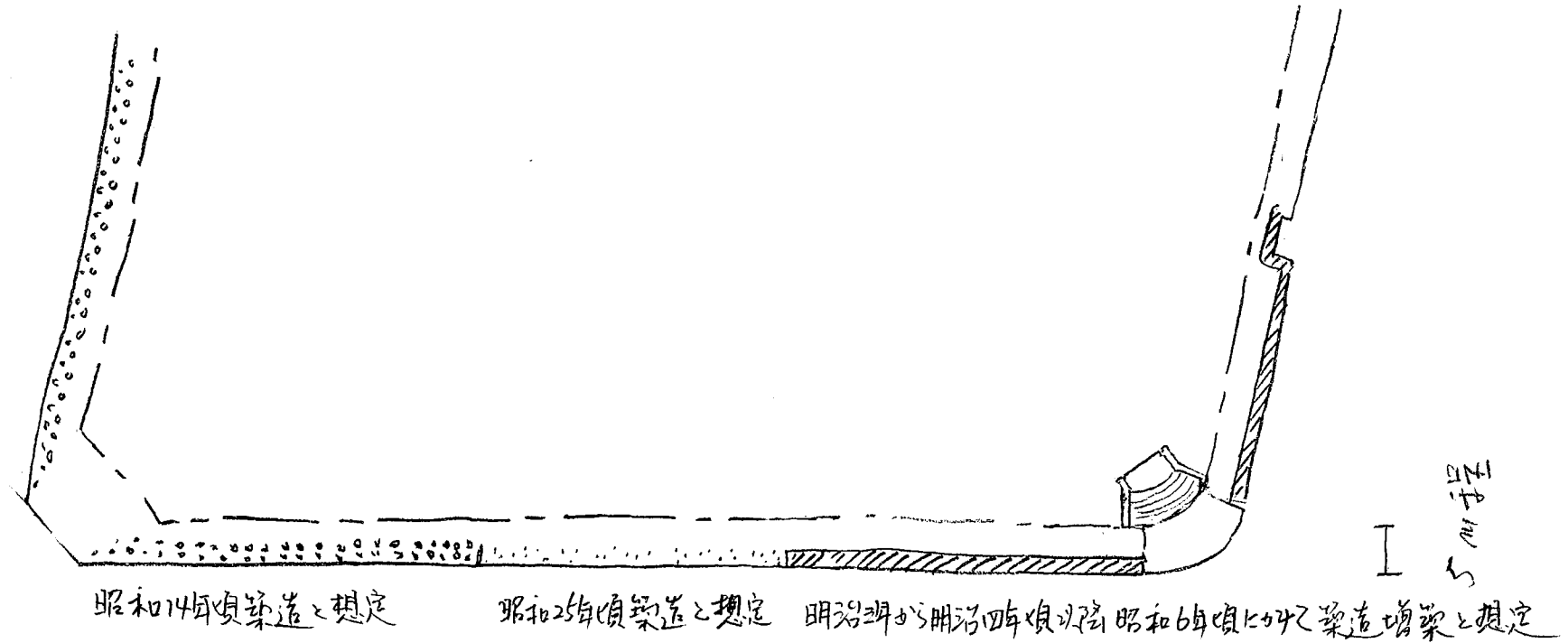
旧長崎市立佐古小学校北敷地北面西部に於ける

旧(長崎)医学校等正門両翼石垣等石垣群の現状保存等

並びに、長崎市の同小学校北西門前塹石段の移築計画への提案と要望(素案)



2020年(令和2年)3月8日 日曜日 養生所考案代表 池知和恭



一点鎖線は石次の設置と想定

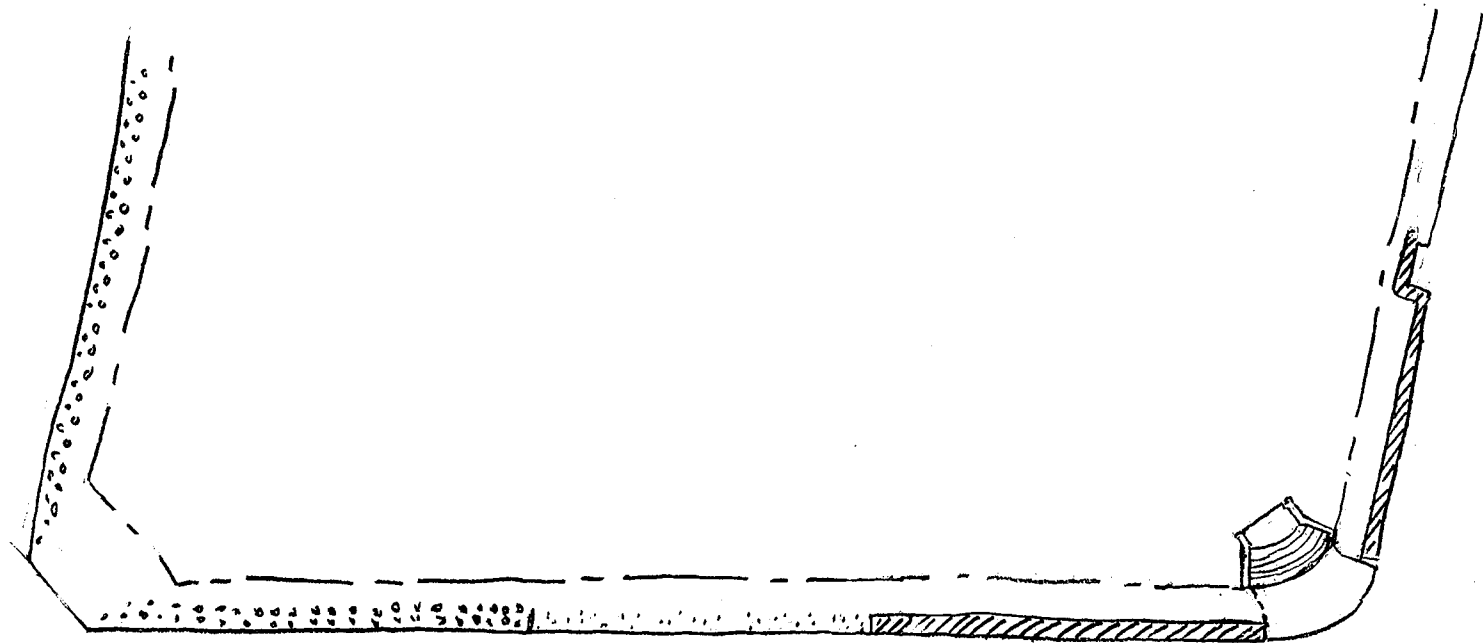
余斗線は旧長崎医学校等正門東翼西翼石垣等石垣群
(明治三年~明治四年頃築造以降増築と推定)

旧長崎市立佐古小学校北敷地北面西部に於ける

旧(長崎)医学校等正門西翼石垣等石垣群の現状保存等

並びに、長崎市の同小学校北西門前扇型石段の移築計画への提案と要望(素案)

2020年(令和2年)3月8日 日曜日 養生所を交陰儀 池知和恭



昭和14年頃築造と想定

昭和25年頃築造と想定

明治21から明治24年頃以降昭和6年頃にかけて築造増築と想定

一点鎖線は石段の設置と想定

余計線は旧長崎医学校等正門東翼西翼石垣等石垣群
(明治三年~明治四年頃築造以降増築と推定)